

第1回 南阿蘇村行政改革推進委員会 次第

日時：令和4年9月30日（金）15時～
場所：南阿蘇村役場 大会議室

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員等自己紹介
- 4 村長あいさつ
- 5 南阿蘇村行政改革推進委員会設置要綱について（資料3）
- 6 会長選出
- 7 委員会への諮問
- 8 議 事
 - （1）村の財政状況（資料4）
 - （2）行財政改革計画の概要（資料5）
 - （3）今までの村の取り組み（資料6）
 - （4）公共施設のあり方に関する議論の進め方（資料7）
 - （5）村内公共施設一覧（資料8）
 - （6）スケジュールについて（資料9）
 - （7）委員自由討議
- 9 事務連絡
- 10 閉 会

第1回 南阿蘇村行政改革推進委員会 座席表

日時：令和4年9月30日（金）15時～
場所：南阿蘇村役場 大会議室

会 長

井田委員

塚元委員

宮田委員

野田委員

浅尾委員

島田委員

長尾委員

山室委員

笠野委員

後藤委員

丸野委員

中尾委員

今村委員

事務局（総務課）

南阿蘇村行政改革推進委員会委員 名簿

任期：令和4年9月30日～令和7年9月29日

	氏 名	所属・役職	備 考
1	井田 貴志	熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科 教授	学識経験者
2	山室 昭憲	議会総務常任委員長	
3	笠野 眞喜	議会文教厚生常任委員長	
4	後藤 征昭	議会経済建設常任委員長	
5	塚元 道夫	区長会会長	
6	宮田 義久	区長会副会長	
7	野田 敏信	区長会副会長	
8	丸野 健一郎	商工会会長	
9	中尾 和弘	P T A連絡協議会会長	
10	島田 佐季子	教育委員	
11	今村 孝明	認定農業者の会会長	
12	浅尾 三郎	民生委員会会長	
13	長尾 公代	地域婦人会会長	

○南阿蘇村行政改革推進委員会設置要綱

平成17年4月1日

訓令第57号

改正 令和2年12月1日告示第81号

令和4年5月2日訓令第8号

(設置)

第1条 社会情勢の変化に対応した簡素にして効率的な村政の実現を推進するため、南阿蘇村行政改革推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、村の行政改革の推進に関し、村長の諮問に応じて調査審議する。

(委員)

第3条 委員会の委員は、15人以内とする。

2 委員は、村政について優れた識見を有する者のうちから、村長が委嘱する。

3 委員の任期は、3年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第4条 委員会に会長を置き、会長は、委員の互選により定める。

(会議)

第5条 委員会は、必要に応じて村長が招集し、会長が議長となる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、総務課において処理する。

(その他)

第7条 この訓令に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この訓令は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(令和2年12月1日告示第81号)

この告示は、令和2年12月1日から施行し、令和2年9月1日から適用する。

附 則

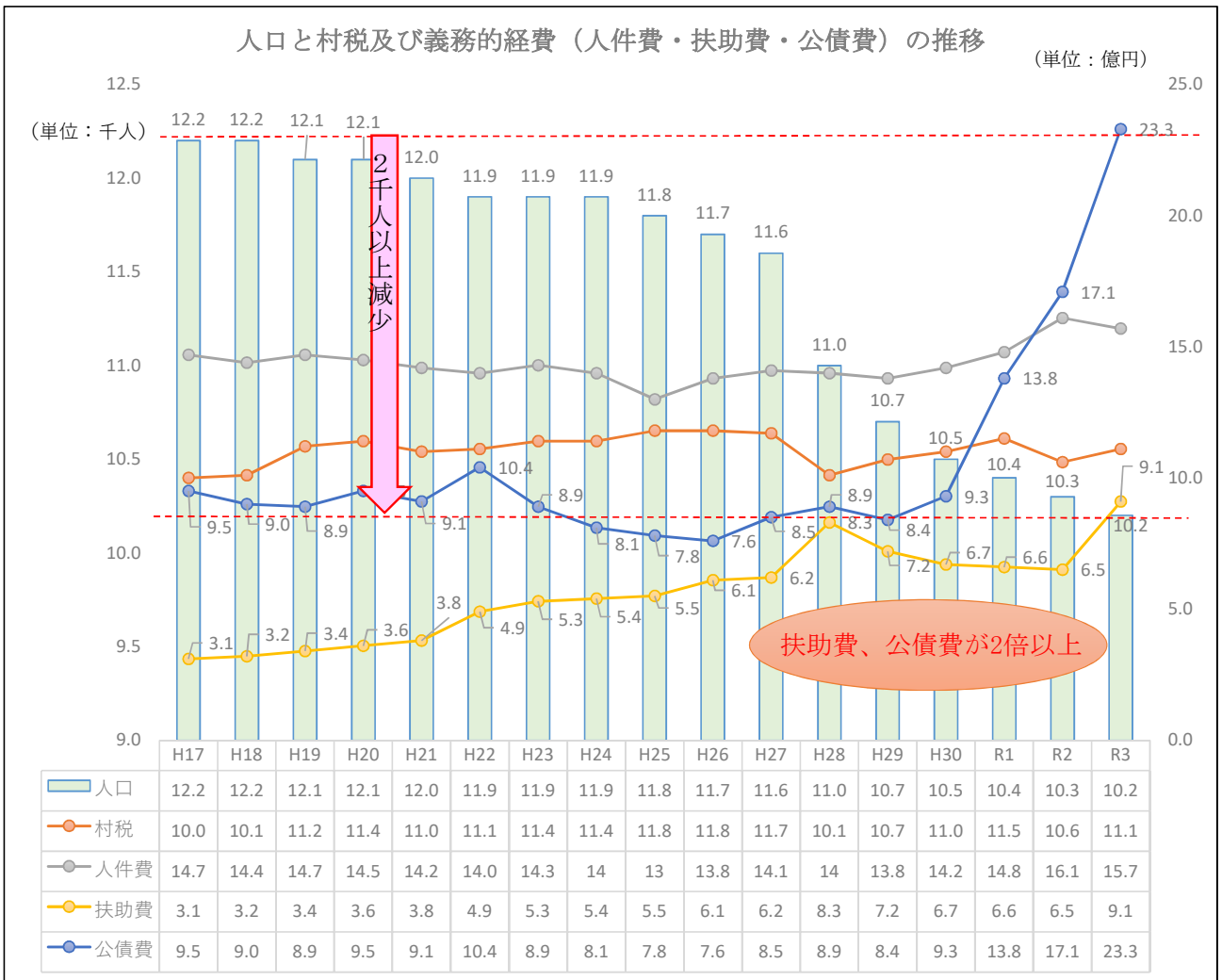
この訓令は、令和4年5月2日から施行する。

○財政の推移と今後の見通し

資料 4

①合併時から令和3年度までの人口と村税等の状況

本村の人口（緑面）は、平成17年の合併時と比較して、2,000人以上減少しています。
 村税（オレンジ線）収入は、平成28年の熊本地震、令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響から、それぞれ一時的に減少したものの微増傾向にあります。
 財政面では、歳出の義務的経費（注1）のうち、人件費（グレー線）は新規採用職員の抑制等により減少傾向にありましたが、熊本地震による新規職員の前倒し採用、任期付職員の増、特に令和2年度は会計年度任用職員制度の導入などに増加しています。
 扶助費（黄色線）は、熊本地震の影響はあるものの子育て支援や高齢者支援等への経費が年々増加し、合併時と令和2年度を比較すると2倍以上に増加しています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対応のための臨時給付金などの影響から、さらに増加しています。
 公債費（青線）は、平成26年度までは減少傾向にありましたが、平成27年度からは南阿蘇西小学校建設事業、平成30年度からは長陽地区統合保育所建設事業などの起債償還がはじまり、令和元年度からは統合南阿蘇中学校増改築事業、新庁舎建設事業などの起債償還に加えて、熊本地震に伴う災害復旧事業関連、令和3年度からは、白水統合小学校整備事業、旧久木野庁舎活用事業などの償還開始に伴い、令和3年度の公債費は合併時の2.4倍以上に増加しています。
 なお、令和元年度から南阿蘇鉄道の災害復旧事業が円滑に進められるよう県市町村振興資金を活用して南阿蘇鉄道に貸付金を支出していますが、この貸付金は翌年度において全額村に返済されるため、同資金は公債費に含まれていません。



(資料：住民基本台帳人口、H17～R3決算状況（決算統計）)

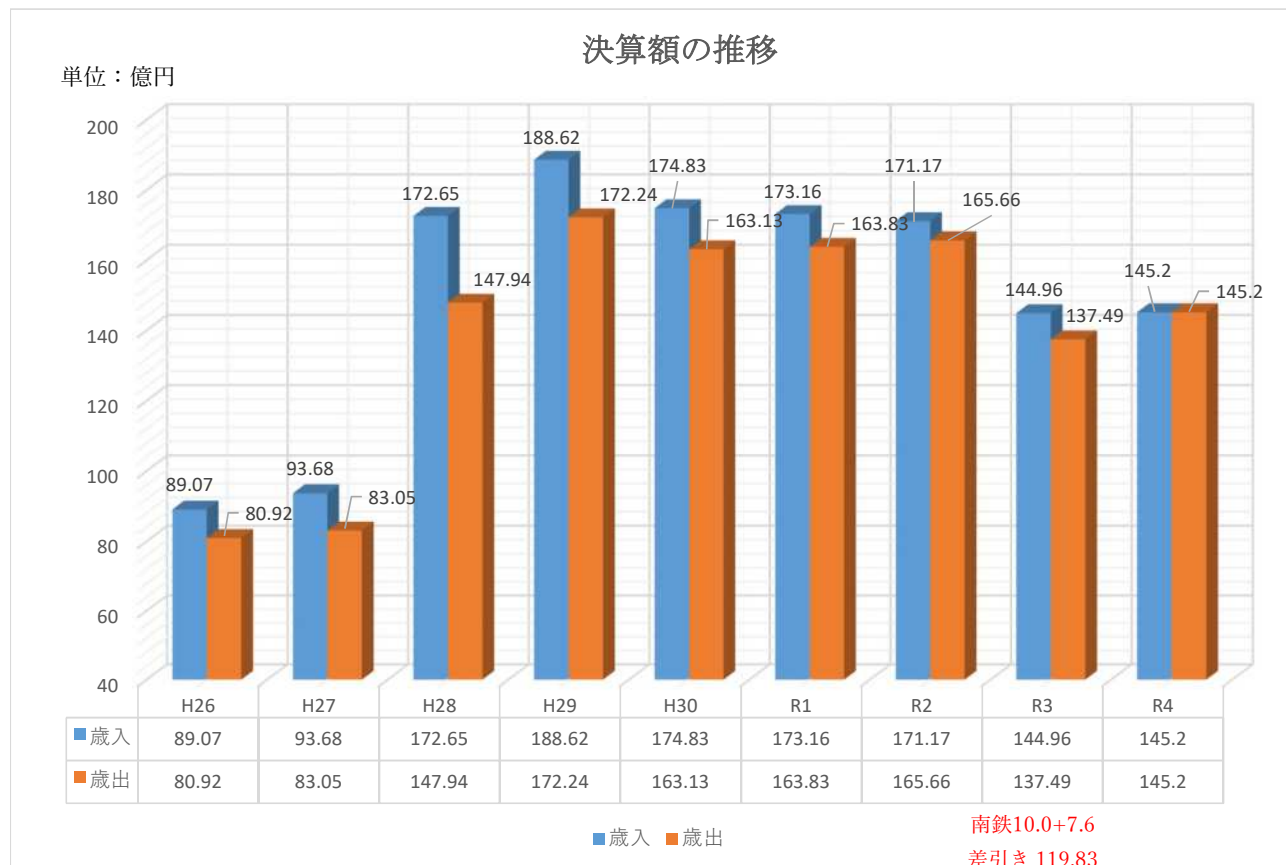
(注1) 義務的経費＝人件費＋扶助費＋公債費

②普通会計の決算額の推移

平成26、27年度は90億円近くの決算額ですが、平成28年の熊本地震時は172.6億円、平成29年度の188.6億円をピークに以降は減少しています。

平成30年度から令和2年度までは170億円台で推移し、令和3年度は144.9億円の決算額となっており、令和4年度は予算ベースで145億円を見込んでいます。

令和3年度の歳出額137.5億円の中には、南阿蘇鉄道への貸付金10億円、昨年度の同貸付金の財源である県の市町村振興資金の返済額7.6億円が含まれていますので、実質では119.8億円（赤字の部分）が支出額になります。



(資料：H17～R3決算状況（決算統計）、R4は9月補正後予算額)

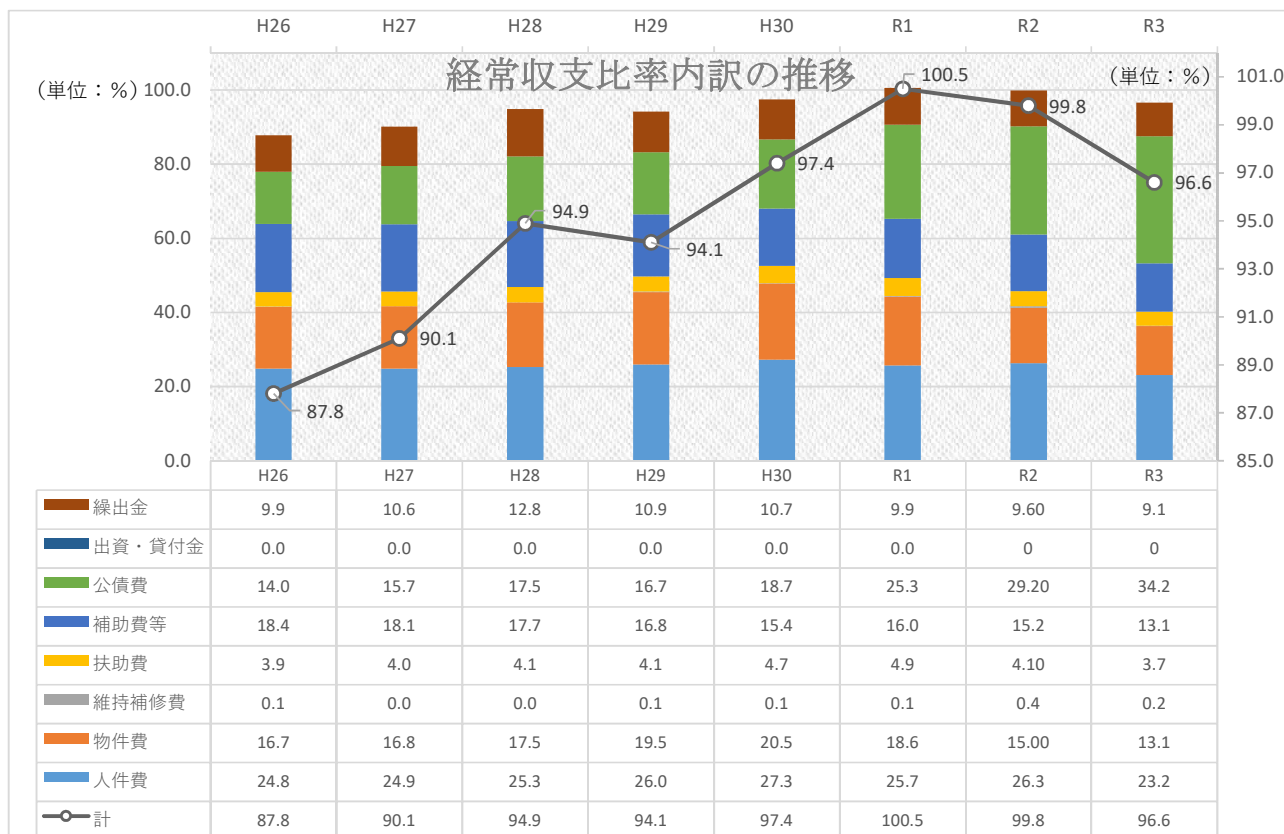
③経常収支比率の推移

普通会計の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）等に占める割合を指標化した経常収支比率は、増加傾向にあり、特に平成27年度以降は歳入面において普通交付税が合併算定替えの縮減により減額される一方、合併後の大型事業及び熊本地震関連による地方債の借入が増加したことにより公債費が増加したことなどから、令和元年度は100.5%と極めて硬直化した財政状況となりました。

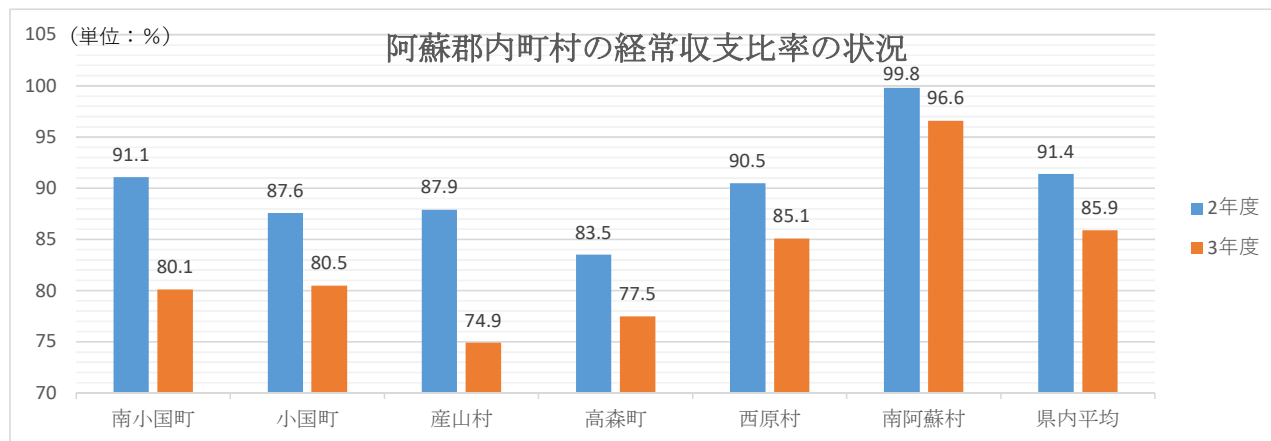
令和2年度以降は減少傾向ですが、令和2年度の99.8%、令和3年度の96.6%は、県内の市町村の中で最も悪化した数値となっています。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費に充当した一般財源（人件費、扶助費、公債費など）}}{\text{経常一般財源（地方税、普通交付税、臨時財政対策債など）}} \times 100$$

(例)
生活費、家・車のローン
毎月の給料



平成26年度と令和3年度の経常収支比率を比較して見ると、公債費が2.44倍であり、経常収支比率悪化の大きな要因となっています。



経常収支比率は、阿蘇郡内においても最も高い位置にあり、県内町村平均を見ても大きく上回っています。

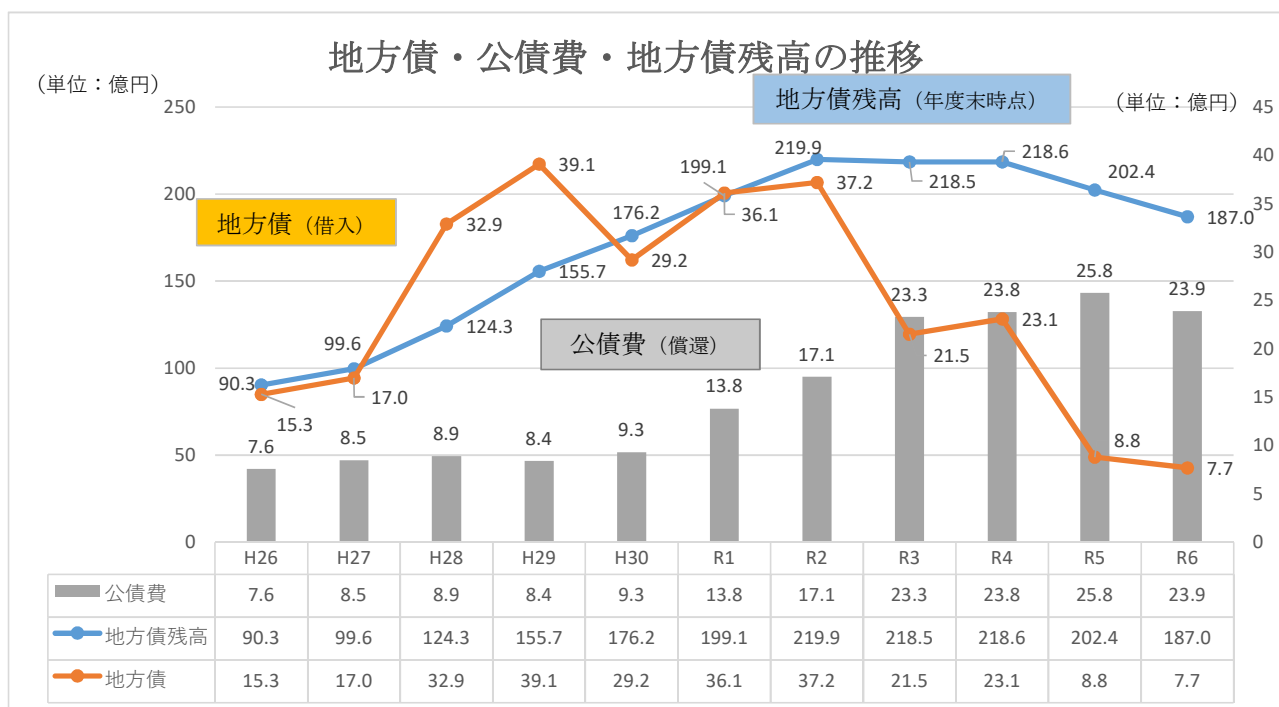
(資料：H26～R3決算状況（決算統計）、県市町村決算の概要（速報値）)

地方債・公債費・地方債残高の推移

地方債残高（青線）は、平成26年度に90.3億円、熊本地震が発生した平成28年度は124.3億円、さらに平成29年度以降は震災復旧復興事業が本格化したことから令和元年度は199.1億円、令和2年度は白水統合小学校整備事業、旧久木野庁舎活用事業などの大型事業により219.9億円まで増加しますが、令和3年度は218.5億円となり地方債残高は減少しました。令和4年度は微増となりますが、令和5年度以降は減少する見込みです。

一方、公債費（グレー棒）は、平成26年度から平成30年度にかけては、7億円から9億円台で推移していましたが、令和元年度は13.8億円、令和2年度は17.1億円、令和3年度は23.3億円となりました。特に、令和5年度は25.8億円の償還額を見込んでおり、今以上に重い財政運営が予想されます。

なお、地方債・公債費・地方債残高には南阿蘇鉄道に貸付けるために借入れている地方債は含まれていません。



（資料：H26～R3決算状況（決算統計）、R4～R6中期財政見通し）

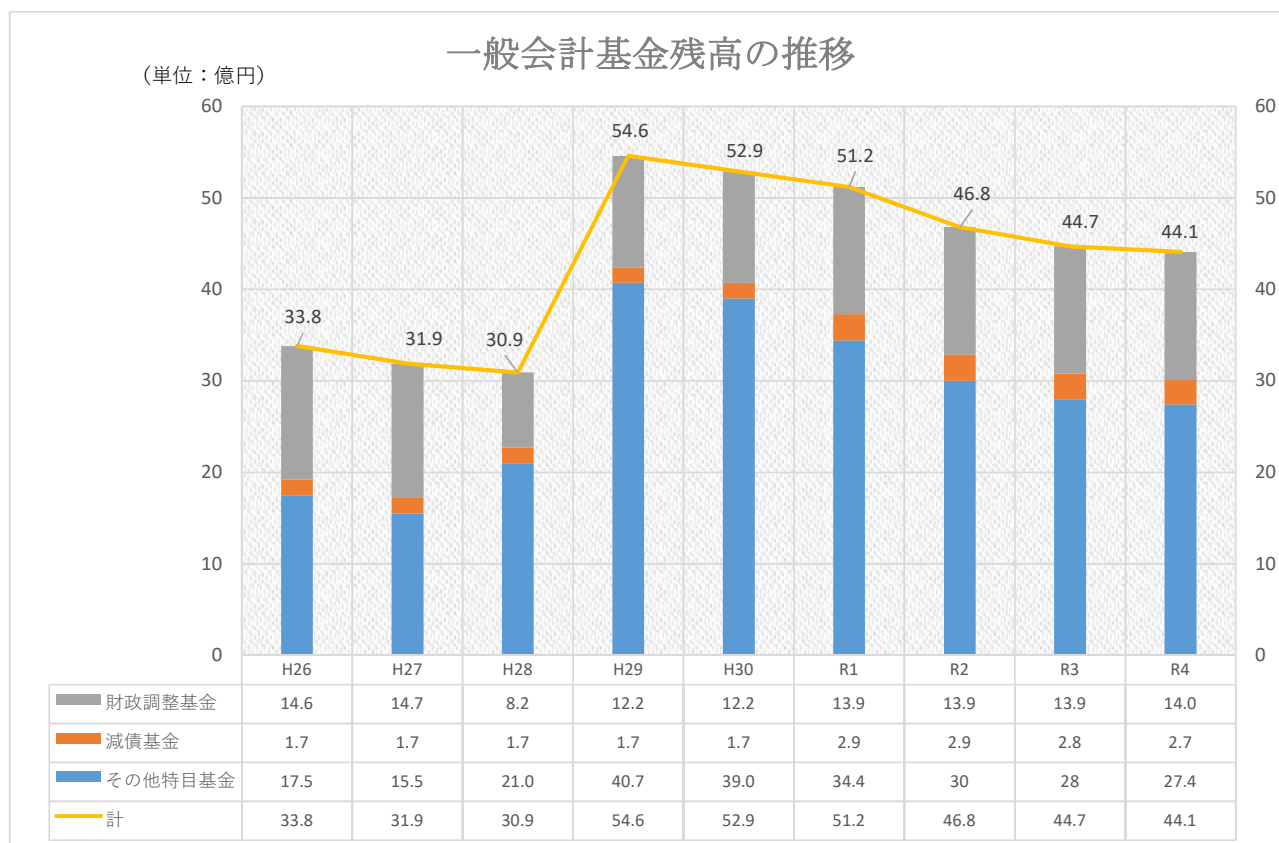
⑤一般会計基金残高の見通し

平成26年度以降、平成29年度を除き毎年0.6～4.4億円の基金を取り崩しています。特に熊本地震対応のため平成28年は6.5億円の財政調整基金を取り崩しています。

その他特定目的基金の災害復興基金については、平成29年度の10.2億円の基金残高をピークに毎年取り崩しており、平成30年度は1.5億円、令和元年度は2.8億円、令和2年度は2.2億円、令和3年度は2.1億を取り崩しており、令和3年度末残高は1.7億円となっている。

令和4年度（9月補正後）は、0.6億円を取り崩す見込みであり、そのうち災害復興基金0.5億円を取り崩す見込みである。

なお、平成29年度は、その他特定目的基金に19.7億円（うち合併振興基金15.5億円、災害復興基金4.3億円）を積み立てています。



(資料：H17～R3決算状況（決算統計）、R4は9月補正後予算額)

行財政改革計画を策定しました

令和3年3月に行財政改革計画を策定しました。計画の中で、住民の皆さまに関係する事項について次のとおりまとめましたので、行財政改革の推進につきまして、ご理解とご協力をお願いします。

〈問い合わせ〉総務課 総務係 TEL(67) 1111

【計画策定の趣旨】

村ではこれまで、国民宿舎の廃止、長陽地区3保育所の統合、長陽・白水地区各小学校の統合、統合庁舎の建設などの取り組みを進めてきました。

これからの自治体運営においては、人口減少や技術革新など急速な社会環境の変化を見据え、持続可能なむらづくりに取り組んでいくことが必要です。「村の将来像」である「**誰もが住みたい住み続けたい南阿蘇村**」の実現のためには、安定的な財政基盤と効率的な組織体制の構築を図る必要があります。

このため、令和3年度から令和7年度までの5力年間で計画期間とする行財政改革計画を策定し、行財政改革の基本的な考え方と取組みの方向性を明らかにし、具体的な取組みを進めていきます。



南阿蘇村の今と未来のため、行財政改革推進へのご理解とご協力をよろしくをお願いします

【令和2年9月に設置した南阿蘇村行財政改革推進委員会に対して、行財政計画の策定に関して諮問をおこなったところ、次のような答申がありました】

●補助金削減と住民サービスの調和
単に事業費や補助金の削減、事業の合理化に固執することがないよう、また、真に必要な事業や補助金まで削減の対象とすることがないようにし、常に住民サービス向上と総合計画との調和を図りながら進めていくこと。



無駄を省きつつも良い所は伸ばしていくための補助金制度が期待されます

●関係者に対する説明と理解
影響を受ける関係者に対して、十分な説明をおこない、理解を求めるところ。



今後の利活用が計画されている閉校した中松小学校校舎

●事業効果の検証と見直し

持続可能な財政運営のため、各種事業の実施目的を明確化し、効果を検証し、見直しや継続について検討をおこなうこと。

●定員適正化と事業の効率化

定員適正化により職員に過度の負荷を生じさせることがないよう、事務事業の効率化を図ること。

●スピード感をもって

行財政改革にかかる個別の取組みは、スピード感をもって実行すること。

●公共施設の運営

公共施設については、今後全ての施設を維持していくことは困難であるため、集約を進め、余剰となる施設については、除却だけでなく、利活用についても十分に検討をおこなうこと。

【計画概要】

①柔軟で機動的な組織体制の構築

●職員数の適正化

適正化に向けた第4次定員適正化計画を策定します。

●職員採用の平準化

新規職員採用者数については、各年度で平準化し、計画的に職員数の適正化を進めていきます。



ICTを活用し職員数の適正化を図るとともに、住民の皆さんの利便性向上を目指します

●機構改革の実施

制限された職員数でも住民サービス向上、災害対応などの行政課題へ対応できるように、効率的で機能的な業務体制の確立を目指します。

●事務事業のアウトソーシング

外部に委託または民営化しても支障のない業務について、費用対効果が期待できる場合には、アウトソーシングを進めます。

②持続可能な行政システムへの転換

●村単独事業の見直し

近隣町村と比較して過剰な内容となっている事業や、成果の検証がおこなわれず、無期限に継続されている事業が数多くあることから、継続の必要性、時限の設定、他の事業との統廃合について検討します。

●包括的相談支援窓口・機関の設置

既存の相談機関・相談支援体制を見直し、生活困窮、DV、障がい、介護などの包括的な相談支援窓口・機関の設置について検討します。

●行事・イベントの見直し

感染症拡大防止の観点から、開催内容を見直し、実施方法の変更、縮小、廃止について検討します。



コロナが収まり、安心してイベントを開催できる日が望まれます(コロナ禍前の撮影)

●総合窓口の設置

住民の利便性の向上を図るため、総合窓口の設置について検討します。

③行政デジタル化の推進

●スマホアプリによる情報伝達

防災行政無線のメリット・デメリットを把握し、スマートフォンアプリによる情報伝達方法への移行について検討をおこないます。

●住民協力の推進

定員適正化により職員数が減少した場合、地域活性化や防災に関し、より一層の住民協力が必要になります。自治会、自主防災組織、消防団、指定管理者などの機能強化を図る住民協力の在り方について検討をおこないます。



2017年(コロナ流行前)実施の防災セミナー。住民協力の大切さを学びました

●マイナンバーカードの普及促進

オンライン化による住民の利便性向上を目指し、オンライン化に必要なマイナンバーカードの普及促進に取り組みます。



今ならお得なマイナポイントももらえます(2021年4月現在)。申請はお早めに

④健全な財政基盤の確立

●補助金・扶助費交付事業の適正化

各補助・扶助事業について精査をおこない、交付の適正化について検討します。

●子育て支援事業の見直し

子育て支援に関する事業については、「子どもを産み育てやすい環境づくり」の観点から、現行の扶助制度を再構築し、より効果的かつ効率的な子育て支援につながるよう努めます。



子育て支援課「みなっこ」のイメージロゴ。子育てをしやすい村を目指します

●団体補助金の適正化

交付を受ける団体などの運営や活動の内容、交付する目的や趣旨を明確にし、費用対効果や継続性などを検証したうえで、補助金支出の適正化に努めます。

●大型事業の実施

大型事業の計画については、費用対効果、各種計画の重点施策に関するものか、地域活性化に資するものかなどを十分に検討して、財政健全化との両立を図ります。



白水地区3小学校の統合により生まれた新白水小学校校舎。白水地区の更なる活性化に大きく貢献します

●各種税や保険料などの滞納解消

阿蘇管内併任徴収の活用などにより、各種税や保険料などの滞納解消に取り組みます。

●口座振替の推進

各種税や料における口座振替は、金融機関処理手数料の削減、窓口負

荷低減、滞納の減少、ミスの減少など大きな効果があるため、一層の口座振替の推進に努めます。

●保育料の適正化

適正な受益者負担の観点から、0～2歳児の保育料や延長保育・一時保育などの特別保育における保育料の引き上げについて、調整をおこないます。

●上下水道料金の適正化

上下水道事業における一般会計からの繰入額は、大きな財政負担となっており、旧村毎のままの料金体系となっていることから、上下水道料金の適正化や段階的な引き上げを検討します。

●施設使用料の有料化

団体や住民による社会体育施設や会議室などの利用について、施設の維持などに係る負担の公平性・受益者負担の適正化の観点から、施設使用料の有料化を進めます。



市民のスポーツ交流の場として活用されている白水体育館などの社会体育施設

⑤人口規模に応じた公共施設の配置

●公共施設の適正配置

合併により南阿蘇村は体育施設や観光施設など、数多くの公共施設を引き継いでいますが、運営費の負担増加、老朽化による修繕や更新問題が顕在化しています。施設の機能集約を図り、余剰施設・重複用途施設・老朽化施設の廃止または除却、受益者が限定される施設の払下げについて検討をおこないます。また、民間企業のサテライトオフィスや保養所などとしての利用が見込める余剰施設については、低価格または無償の民間譲渡による民設民営化を進めます。

●生活排水処理事業

修繕費用の増加などにより管理費用が不足しており、問題解決に向けて将来的には使用料の改定や管理者の変更などを含めて検討します。

●公営住宅の集約・入居者要件の見直し

新規の公営住宅建設は控え、老朽化した住宅については、解体撤去を進め、そのために必要な団地の集約、村営住宅の入居要件の見直しによる新規入居者の制限を検討します。



老朽化した団地からの集約先に使われた馬立団地

●村道および農道整備

工事については、災害などからの現状復旧にかかるものを基本とし、改良および新設については大幅に削減します。

●道路の舗装や補修

道路の舗装や補修については、道路の利用状況、補修の必要性などにより、緊急に必要な場合にのみおこなうこととします。

今までの村の取り組み

資料6

単位：%

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降
経常収支比率 (県内市町村平均)	94.9 (90.3)	94.1 (90.7)	97.4 (92.4)	100.5 (92.9)	99.8 (91.4)	96.6 (85.9)			
村の大きな動き	南阿蘇中学校開校、熊本地震	新庁舎開庁、旧長陽西部保育園解体	そば加工体験施設整備	久木野歴史民俗資料館解体	四季の森民間貸付、旧白水庁舎・のぎく館・一丁田倉庫解体、ふるさとセンター売却	白水統合小学校開校、LOOPみなみあそ開館、旧そば研修センター売却、阿蘇白水郷美術館閉館	久木野歯科解体予定		
行政改革推進委員会					3.3行財政改革計画策定				
公共施設利活用等推進委員会	地域活性化公共施設利活用検討委員会			公共施設利活用等推進委員会					
		30.2遊休施設の利活用に係る提言							
使用料等審議会						3.12審議会設置条例整備			
サマーレビュー (行政の取り組み)				事務事業の見直し、補助金の縮減等 【課題】役場内での見直しであり、住民も含めての合意形成が必要である。					

新たな行政改革推進委員会と公共施設利活用等推進委員会の構成委員の多くが重複することから、行政改革推進委員会に公共施設関連を含めて、行財政改革を一体的に協議する組織に改める。

南阿蘇村公共施設のあり方に関する議論の進め方

1. 公共施設のおおまかな経緯

- ・平成17年2月の3村合併にあたり、目的の重複した施設も含めて全てを新村に引き継ぐ。
- ・少子化に伴い保育所、小学校、中学校の統合を推進。
- ・熊本地震後、旧村ごとの基本方針の提言（地域活性化公共施設利活用検討委員会）を基に推進。

提言は、統合により遊休施設となっている学校施設や旧庁舎及び周辺施設の利活用を念頭に策定。

- | | |
|--------|------------------|
| ○白水地区 | 交流と健康増進の拠点となる施設 |
| ○久木野地区 | 教育と文化の拠点となる施設 |
| ○長陽地区 | 復興と産官学連携の象徴となる施設 |

- ・段階的に、施設の売却、解体等を実施。
- ・公共施設利活用等推進委員会に進捗状況等を報告

2. 課題

- ・数多くの公共施設を有していることから、施設の維持管理費、更新費用などが村の財政負担となっている。
- ・住民も含めての合意形成が必要である。

3. 本委員会において議論いただきたいこと

- ・施設ごとの方向性を再確認し、公共施設の今後のあり方、適正配置について答申いただきたい。

村内公共施設一覧

令和4年9月末日現在

施設分類		旧村区分	施設情報 ※主要な建物の建築年度				備考	
大分類	小分類		名称	建築年度※ (西暦)	経過年数	耐震		
学校教育系施設	小学校	白水	白水小学校(旧白水中学校)	1977	44	○		
		久木野	久木野小学校	2003	18	○		
		長陽	南阿蘇西小学校	2010	11	○		
	中学校	長陽	南阿蘇中学校	1977	44	○	旧長陽中学校	
		長陽	南阿蘇中学校第2体育館(長陽体育館)	1983	38	○		
		長陽	南阿蘇中学校第2グラウンド(長陽グラウンド)	1976	45	○		
	その他	白水	白水学校給食センター	1997	24	○		
		長陽	南阿蘇中学校給食センター	1978	43			
	文化系施設	公民館	久木野	久木野総合センター	1980	41		
長陽			長陽中央公民館	1973	48			
集会所		白水	吉田三区集会所	1976	45			
		長陽	新下野団地集会所	1989	32	○		
		長陽	立野団地集会所	2020	1	○	令和2年度に建替え	
		長陽	下野団地集会所	1970	51			
社会教育系施設	博物館	長陽	歴史民俗資料館(長陽郷土資料館)	1984	37	○		
	図書館	久木野	LOOPみなみあそ(旧久木野庁舎)	1983	38	○		
スポーツ系施設	体育館	白水	白水体育館	1982	39	○		
		白水	屋内多目的施設「すばーく白水」	1993	28	○		
		久木野	久木野体育館(旧久木野中学校体育館)	1995	26	○		
		長陽	屋内多目的施設「すばーく長陽」	1992	29	○		
	武道場	白水	白水武道場	1989	32	○		
		白水	白水運動公園(白水総合グラウンド)	1983	38	○		
	グラウンド	久木野	久木野グラウンド	1998	23	○		
		長陽	長陽運動公園	1989	32	○		
	プール	白水	白水B&G海洋センター	1985	36	○		
レクリエーション系施設	温泉	白水	阿蘇白水温泉「瑠璃」	1994	27	○		
		久木野	四季の森温泉	1993	28	○	民間企業に貸与	
		長陽	長陽総合福祉温泉センター「ウイナス」	1992	29	○		
		長陽	長陽歩行浴温泉センター	2002	19	○	令和3年度をもって閉鎖	
	観光施設	白水	白水物産館「自然庵」	1996	25	○		
		白水	水加工場「はくすい」	1994	27	○		
		久木野	南阿蘇村観光案内所	2009	12	○		
		久木野	あそ望の郷「くぎの」	1993	28	○		
	レクリエーション施設	久木野	久木野教育キャンプ場	1991	30	○		
		長陽	長陽パークゴルフ場	2003	18	○	令和2年度に再建	
産業系施設	産業施設	白水	白川水源交流館	2018	3	○		
		久木野	そば道場(あそ望の郷「くぎの」内)	2018	3	○		
		久木野	みなみあそコミュニティセンター	2014	7	○		
		長陽	新阿蘇大橋展望所「ヨ・ミュール」	2020	1	○		
子育て支援施設	保育園	白水	はくすい保育園	1991	30	○		
		久木野	くぎの保育園	1986	35	○		
		長陽	ちょうよう保育園	2014	7	○		
	放課後児童クラブ	久木野	久木野放課後児童クラブ	2020	1	○		
		長陽	南阿蘇西学童クラブ(旧長陽保育所)	1982	39	○		
保健・福祉施設	保健・福祉施設	白水	白水保健センター	2000	21	○		
		白水	南阿蘇村福祉センター	1986	35	○		
		久木野	久木野総合福祉センター	1992	29	○		
		久木野	柏木谷ふれあいプラザ	2000	21	○	久木野パークゴルフ場	
		久木野	久木野ふれあいシルバーセンター	1998	23	○		
		久木野	ふれあいサロン	2001	20	○		
	公民館	長陽	中央健康交流センター	1999	22	○		
		集会所	白水	白水高齢者交流センター	1974	47		
			長陽	東部地区健康交流センター	1999	22	○	
			長陽	工芸加工交流センター	2001	20	○	
			長陽	下野西部地区健康管理センター	1999	22	○	
長陽	立野健康交流センター	2000	21	○	長陽憩いの家温泉の一部。地域(立野区)に貸与			

村内公共施設一覧

令和4年9月末日現在

施設分類		旧村区分	施設情報 ※主要な建物の建築年度				備考	
大分類	小分類		名称	建築年度※ (西暦)	経過年数	耐震		
行政系施設	役場庁舎	長陽	役場庁舎	2016	5	○		
		長陽	旧長陽庁舎(長陽)	1976	45	○	令和3年度まで、国交省熊本復興事務所として使用	
		白水	旧白水庁舎(倉庫・車庫等)	2000	21	○	一部解体。白水保健センターに統合	
		久木野	久木野倉庫(旧久木野庁舎車庫)	1969	52			
		白水	消防団詰所(1分団1部)吉田一	1995	26	○		
	白水	消防団詰所(1分団2部)吉田二	1990	31	○			
	白水	消防団詰所(1分団3部)吉田三	1986	35	○			
	白水	消防団詰所(2分団1部)白川	2010	11	○			
	白水	消防団詰所(2分団2部)白川	1994	27	○			
	白水	消防団詰所(3分団1部)両併	2010	11	○			
	白水	消防団詰所(3分団2部)両併	1998	23	○			
	白水	消防団詰所(3分団3部)両併三	1970	51				
	白水	消防団詰所(4分団1部)一関一	2004	17	○			
	白水	消防団詰所(4分団2部)一関二						
	白水	消防団詰所(5分団1部)中松二	1999	22	○			
	白水	消防団詰所(5分団2部)中松三	1985	36	○			
	久木野	消防団詰所(6分団1部)第一駐在	1989	32	○			
	久木野	消防団詰所(6分団2部)第二駐在	1997	24	○			
	久木野	消防団詰所(7分団1部)第三駐在	1984	37	○			
	久木野	消防団詰所(7分団2部)第四駐在	1984	37	○			
	久木野	消防団詰所(8分団1部)第五駐在	1981	40				
	久木野	消防団詰所(8分団2部)第六駐在	1982	39	○			
	久木野	消防団詰所(9分団1部)第七駐在	2001	20	○			
	久木野	消防団詰所(9分団2部)第八駐在	1991	30	○			
	久木野	消防団詰所(9分団3部)第九駐在	1991	30	○			
	長陽	消防団詰所(10分団1部)東下田	1971	50				
	長陽	消防団詰所(10分団2部)下田	1994	27	○			
	長陽	消防団詰所(11分団1部)袴野	2012	9	○			
	長陽	消防団詰所(11分団2部)長野	2019	2	○			
	長陽	消防団詰所(12分団1部)川後田	1973	48				
	長陽	消防団詰所(12分団2部)加勢	2020	1	○			
	長陽	消防団詰所(13分団1部)喜多	1993	28	○			
	長陽	消防団詰所(13分団2部)栃木	1975	46				
	長陽	消防団詰所(14分団2部)沢津野	2019	2	○			
	長陽	消防団詰所(15分団2部)下野	1967	54				
	長陽	消防団詰所(16分団1部)立野	1985	36	○			
	長陽	消防団詰所(16分団2部)新所	1971	50				
	公営住宅	村営住宅	白水	村営住宅「上の原団地」	1995	26	○	
			白水	村営住宅「南町上団地」	1992	29	○	
			白水	村営住宅「城後団地」	1988	33	○	
			白水	村営住宅「北町上団地」	1988	33	○	
			白水	村営住宅「轟田団地」	1985	36	○	
			白水	村営住宅「田久保団地」	1971	50		
			白水	村営住宅「高木団地」	1984	37	○	
			白水	村営住宅「一本杉1号団地」	1975	46		
			白水	村営住宅「一本杉2号団地」	1978	43		
			白水	村営住宅「町後団地」	1977	44		
			白水	村営住宅「横町団地」	1981	40	○	
			久木野	村営住宅「ナクス住宅」	1974	47		
			久木野	村営住宅「室町団地」	1998	23	○	
久木野			村営住宅「猶須住宅」	1988	33	○		
久木野			村営住宅「原尻住宅」	1996	25	○		
久木野			村営住宅「下西原第1団地」	2018	3	○		
久木野			村営住宅「下西原第2団地」	2019	2	○		
長陽			村営住宅「下田駅前団地」	1981	40	○		
長陽			村営住宅「長陽駅前団地」	1981	40	○		
長陽			村営住宅「高野台団地」	1999	22	○		
長陽	村営住宅「新下野団地」	1988	33	○				
長陽	村営住宅「立野団地」	1967	54		一部解体			
長陽	村営住宅「下野団地」	1969	52					
長陽	村営住宅「立石団地」	2003	18	○				
長陽	村営住宅「馬立団地」	2018	3	○				
長陽	村営住宅「長陽西部団地」	2019	2	○				
	移住定住促進住宅	長陽	移住定住促進住宅「喜多住宅」	2020	1	○		

村内公共施設一覧

令和4年9月末日現在

施設分類		旧村区分	施設情報 ※主要な建物の建築年度				備考	
大分類	小分類		名称	建築年度※ (西暦)	経過年数	耐震		
公園	展望所	白水	池の窪展望所	1993	28	○		
		久木野	俵山展望所	1986	35	○		
		久木野	グリーンロード展望所	1998	23	○		
		長陽	阿蘇長陽大橋展望所	1992	29	○		
	公園	白水	一心行公園	2005	16	○		
		白水	明神池公園	1990	31	○		
		白水	白川水源公園	1984	37	○		
		白水	池の川水源公園	2001	20	○		
		白水	湧沢津水源公園	2000	21	○		
		白水	寺坂水源公園	2000	21	○		
		白水	川地後公園	2006	15	○		
		白水	一関公園	2006	15	○		
		白水	車鶴公園	2007	14	○		
		白水	小池水源公園	2004	17	○		
		白水	塩井社水源公園	2000	21	○		
		白水	スポーツの森公園	1998	23	○		
		白水	池の窪ふれあい交流広場	2004	17	○		
		久木野	柏木谷史跡公園	1999	22	○		
		長陽	神楽の里公園	1995	26	○		
		長陽	高野台公園	2000	21	○		
		長陽	喜多ため池公園	1999	22	○		
		長陽	高野台防災公園	2019	2	○		
		その他	教職員住宅	久木野	久木野教職員住宅	1979	42	
長陽				南阿蘇中教職員住宅	1992	29	○	
駅舎	白水		見晴台駅	1998	23	○		
	白水		阿蘇白川駅	1985	36	○		
	白水		中松駅	1986	35	○		
	白水		白水高原駅	1991	30	○		
	白水		白川水源駅	2011	10	○		
	長陽		阿蘇下田城ふれあい温泉駅	1993	28	○	温泉は廃止	
	長陽		立野駅				現在再建中	
	長陽		加勢駅	1986	35	○		
農業関係施設	長陽		長陽駅	1927	94			
	白水		共同畜舎	1983	38	○		
	白水		共同作業所	1977	44			
	白水		人工エノキ草栽培施設	1984	37	○		
	白水		有機肥料生産センター	1999	22	○		
	白水		野菜水耕栽培施設A	1988	33	○		
	白水		野菜水耕栽培施設B	1988	33	○		
	白水		花き栽培施設A	1990	31	○		
	白水		花き栽培施設B	1992	29	○		
	白水		共同牧乾施設	1986	35	○		
その他	学校関係施設		白水	旧白水小学校	1977	44		
			長陽	旧立野小学校	1980	41		あそ立野ダム広報室などとして使用
	旧体育館		久木野	河陰体育館	1965	56		
		久木野	久石体育館	1967	54			
	その他	長陽	旧立野保育所	1983	38	○	役場書庫として使用	
		長陽	定住支援センター「南GO!!Station」(役場庁舎内)	2019	2	○		
		長陽	村営住宅「西部小住宅」	1972	49			
		白水	白水クリーニングセンター	1982	39	○		
		白水	ジュータンクリーニング工場	1993	28	○		
		白水	吉田三区納骨堂	1968	53			
		白水	地域防災施設	2006	15	○		
		長陽	食のふるさとふれあいセンター	1993	28	○		
		白水	旧両併小学校	1992	29	○	農業みらい公社として改修予定	
		白水	旧中松小学校	1979	42		中松集学校として改修	
		長陽	旧長陽西部小学校	1974	47	○	震災伝承館として改修	
		長陽	長陽憩いの家温泉	2000	21	○	温泉は廃止。地域(立野区)に貸与	
		長陽	長陽保健センター	1994	27	○	イデア熊本アジア学園に貸与	
		久木野	グリーンピア南阿蘇	1985	36	○		
久木野	久木野歯科診療所	1989	32	○	令和4年度に解体予定			
白水	阿蘇白水郷美術館	2000	21		売却予定			

村内公共施設一覧

令和4年9月末日現在

施設分類		旧村区分	施設情報 ※主要な建物の建築年度				備考
大分類	小分類		名称	建築年度※ (西暦)	経過年数	耐震	
184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194	廃止	久木野	久木野小学校給食センター	1974	47		廃止済み
		白水	白水総合センター	1978	43	—	解体済み
	解体	長陽	長陽碧流キャンプ場	2003	18	—	震災により消失
		久木野	久木野温泉「木の香湯」	1990	31	—	解体済み。土地は売却予定
		久木野	農産物加工施設「のぎく館」	1997	24	—	解体済み
		久木野	一丁田倉庫	1942	79	—	解体済み
		長陽	旧長陽西部保育所	1974	47	—	解体済み
		長陽	村営住宅「黒川団地」	1991	30	—	解体済み
		白水	阿蘇プラスチック工場	1988	33	—	無償譲渡済み
		売却	久木野	旧そば道場	1990	31	—
久木野	ふるさとセンター	1964	57	—	売却済み		

答申までのスケジュール

○第 1 回 (9 月 30 日)

- ・ 委嘱状交付
- ・ 公共施設のあり方に関する議論の進め方
- ・ スケジュール確認

○第 2 回 (11 月上旬)

- ・ 施設ごとの方向性を改めて提示

○第 3 回 (12 月下旬)

- ・ 前回説明した内容に関する補足説明
- ・ 答申 (案) 及び付帯意見について意見集約

○第 4 回 (2 月中旬)

- ・ 答申 (案) 及び付帯意見についての確認

●令和 5 年度

- ・ 村単独事業、補助金等の見直しに関する協議